



地産地消の拠点「宝満の市」 7月にリニューアル

長年にわたり地産地消の拠点として、あすてらす南側で営業してきた「宝満の市」が、7月に大崎のポケットパークへ移転しリニューアルオープンします。

宝満の市の佐々木社長は、「出荷者が新鮮な農産品を持ち寄り、市民が購入するモデルを築き、地産地消を実現したい」と意気込みを語りました。

宝満の市では、野菜や加工品を出品する農家を募集しています

出荷者説明会

日時 6月6日(土) / 午前10時～11時

会場 みい農業協同組合本店3階第2会議室

☎市農業振興課農政係 ☎72-2111



女性消防団有志が 手作りマスクを寄贈

4.23
thu

小郡市女性消防団の有志7人が、手作りした布マスク282枚を介護老人ホーム三沢長生園、小郡カトリック幼稚園に寄贈しました。

小郡市消防団は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訓練などを休止しており、「地域のためにできることはないか」と思い立ち、3月下旬から布マスクの作成を始めました。

寄贈を受けた三沢長生園の柳理事長は、「なかなか手に入らないマスクを寄贈いただき、ありがたい。職員の士気も上がる」と話しました。

青少年アンビシャス運動で 小郡で活動する2人が選出

3.8
sun

子どもたちの社会性や自主性を伸ばすために、精力的な活動で地域に貢献してきた団体などを県が表彰する「第17回青少年アンビシャス運動参加団体・個人の表彰式」。小郡で長年にわたり尽力してきた丸林俊市さんと山崎嘉子さんが選出され、市長へ受賞を報告しました。子ども囲碁教室を通し、考える力の向上や礼儀マナーを指導してきた丸林さんには功績者表彰、「くろつちアンビシャス広場」で子どもの居場所作りを行ってきた山崎さんには感謝状が授与され、2人は「今後も学校や家庭と連携を取りながら活動を続けていきたい」と決意を新たにしました。



消火活動に協力した 5人に感謝状を贈呈

3.19
thu

2月に乙隈の竹やぶで発生した火災で、通報や初期消火などにあった5人に、三井消防署から感謝状が贈られました。偶然バイクで通りかかったという西依生裕さんは、竹やぶから煙が出ていることを不審に思い、火災を発見。119番に通報後は、道路脇の消火栓からホースを取り出し、その場にいた浜田繁喜さん、米倉清美さん、鶴田巖雄さん、米倉末弘さんと連携して、被害を最小限に留めました。消防団員だったという浜田さんと西依さんは、「無我夢中だった」と振り返りながら、「訓練の経験が生かせた」と、日ごろの備えの重要性を語りました。

